

平成 29 年度に実施した主な事業について

第 6 次総合計画の三つの重点戦略

【戦略 1】暮らし ～暮らしの安心感を高める“つながり”の構築～

1 “つながり”を育むまちづくり

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|--------------------------------|-------------|--|
| 市民活動推進事業 (市民活動支援事業) | 4,296 | 地域コミュニティや多様な市民活動団体による支え合い活動の一層の活性化を図るため、NPO・ボランティアセンターによる情報発信を強化するとともに、市民活動団体が求める各種講座や団体同士の交流会、市民活動体験ツアーを開催した。 |
| 地域活動支援事業 (地域活動支援事業) | 175,063 | 地域の課題解決や活力向上を図るため、地域活動資金を全ての地域自治体に配分し、地域住民の自発的・主体的な取組を支援した結果、延べ 359 件の事業が実施された。 |
| 市民活動推進事業 (地域コミュニティ活動サポート事業) | 379 | 地域コミュニティの課題解決に向けた活動を支援するため、地域づくりアドバイザーを 3 町内会に派遣したほか、平成 28 年度に本事業を実施した 2 団体のフォローアップを実施した。 |
| 地域振興事業 (住民組織活動基盤整備事業) | 6,989 | 高齢者の地域支え合い事業の受託を契機に、地域の活力向上に取り組む住民組織の活動を支援するため、新たに 2 団体に対して車両等の購入費用を助成した。 |
| 民生委員・児童委員活動費 (民生委員・児童委員活動費) | 26,935 | 複雑で多様な課題を抱える家庭等が増加する中、民生委員・児童委員、主任児童委員の負担が増大している実情を踏まえ、活動報償金を増額したほか、委員の配置や担当区域の見直しなどについて意見を集約するなど、委員がより活動しやすい環境の整備を進めた。 |
| 災害対策費 (自主防災組織の結成促進及び活動支援) | 6,794 | 自主防災組織等の活性化と地域防災力の向上を図るため、自主防災組織等が行う防災資機材の購入や防災訓練等の活動に要する経費に対して補助金を交付したほか、防災士養成講座を開催し、新たに 49 名の防災士を養成した。 |
| 災害対策費 (防災訓練の実施) | 4,052 | 市民、自主防災組織の防災意識の向上及び関係機関との連携強化のほか、職員の災害対応力の向上を図るため、平成 3 年以来、26 年ぶりに新潟県と合同で総合防災訓練を実施した。 |
| 福祉避難所整備事業 (福祉避難所整備事業) | 21,246 | 特に配慮を必要とする高齢者や障害のある人などが安心して避難生活を送ることができるよう、福祉避難所に要配慮者の態様に応じた災害備蓄品を配備した。また、福祉避難所の開設訓練を行い、地域と連携した要配慮者の避難支援体制や施設の受入態勢の構築を進めた。 |
| 災害対策費 (災害救援物資の整備) | 13,017 | 指定避難所内の福祉避難スペースにおける生活環境の向上を図るため、全ての指定避難所へ段ボールベット、間仕切りなどの要配慮者用物資を配備した。 |

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|---------------------|-------------|--|
| 公民館事業 (公民館事業) | 54,181 | 学びを通じた人づくり、地域づくりを推進するため、元気の出るふるさと講座など、365の公民館事業を実施した。 |
| 企画調整費 (域学連携推進事業) | 520 | 大学の専門知識や学生の活力をまちづくりに生かすため、市内の域学連携の取組状況の調査や、市内外の大学生による高田地区の街歩き・魅力発見の支援を行ったほか、認知症の人にやさしい地域づくりをテーマとした市民フォーラムを県立看護大学と連携して実施した。 |

2 こどもたちのすこやかな育ちを育む“つながり”の強化

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|---------------------------------------|-------------|--|
| こどもセンター運営事業 (こどもセンター運営事業) | 37,806 | 安心して子育てができる環境を整えるため、新たな子育て支援の拠点施設として、平成29年9月に開館した市民交流施設高田公園オーレンプラザ内にこどもセンターを設置し、継続する市民プラザのこどもセンターと連携を図りながら、子どもの遊びの場や保護者同士の交流の場を提供するとともに、子育て情報の提供や相談支援を実施した。 |
| 病児保育・子育てひろば運営事業 (子育てひろば運営事業) | 109,930 | 安心して子育てができる環境づくりを推進するため、未就園の児童とその保護者を対象に親子の遊びの場や保護者同士の交流の場を提供するとともに、子育て情報の提供や相談支援を実施した。 |
| 子育て支援事業 (すこやかな育ち総合支援事業) | 5,340 | 0歳から18歳までの切れ目のない支援体制を整えるため、「すこやかなくらし支援室」を「すこやかなくらし包括支援センター」に改組するとともに、子どもの育ちに関するワンストップの相談窓口として、専門的知識を有する相談員2人を新たに配置し、各種制度の狭間にいる方々や複合的な課題を抱える世帯への包括的な支援を行った。 |
| こども発達支援センター事業 (すこやかな子どもの育ちのための親支援) | 149 | 子育ての不安や悩みを抱える保護者に対し、子どもの特性の理解やライフステージに応じたより良いコミュニケーションの習得など、家庭の育児力を高めるための親支援を行った。 特に、子どもの発達程度にかかわらず行う「基本的な親子コミュニケーション支援」について、市立保育園に加え、私立保育園及び私立幼稚園の保護者を対象として実施した。 |
| コミュニティ・スクール事業 (コミュニティ・スクール事業) | 4,713 | 保護者や地域の意見を学校運営に反映し、特色のあるよりよい学校づくりや学校や地域の課題解決のため、学校・家庭・地域が連携し、地域ぐるみの教育活動や健全育成の取組を実施した。 |
| 青少年健全育成センター運営費 (地域青少年育成会議活動支援) | 9,775 | 地域の特性を生かした青少年育成活動を推進するため、22の地域青少年育成会議に交付金を交付して活動を支援した。 |
| 青少年教育活動事業 (各種団体補助金) | 1,643 | 【こどもリーダー育成事業補助金(248)】 次代を担う人材育成のため、子ども会等が行う取組に補助金を交付して青少年のリーダー育成を支援した。 |

3 お年寄りのすこやかな暮らしを支える“つながり”の強化

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|---------------------------------------|-------------|---|
| 一般介護予防事業 (一般介護予防事業) | 26,359 | 【通いの場の設置 (25,859)】 地域自治区ごとに通いの場を設置し、高齢者が気軽に集い、交流できる場を前年度よりも132回多く開催したことで、延べ参加者数が1,300人程度増加した。(延べ3,434回、40,427人) |
| 包括的支援事業費 (包括的支援事業費 地域包括支援センター運営事業) | 238,655 | 高齢者の総合相談窓口として、市民や居宅介護支援事業所等からの相談に対応したほか、サービスの調整など関係機関と連携を図り、支援が必要な人に対し、きめ細かな支援を行った。 また、複雑化する高齢者の相談等への支援体制を強化するため、平成30年度から全ての地域包括支援センターを保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員が揃ったI型とするとともに、担当エリアの見直しを行った。 |
| 生活支援体制整備事業 (生活支援体制整備事業) | 45,603 | 全地域自治区に配置した生活支援コーディネーターを中心に地域支え合い事業の定着を図り、新たに高土区において住民組織へ運営を移行した。 |
| 介護予防・生活支援サービス事業 (介護予防・生活支援サービス事業) | 446,337 | 【介護予防教室及び訪問型生活支援サービス事業 (9,876)】 地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築を図るため、有償ボランティアについての基本的な知識や技術を学ぶ講習会等の実施により訪問型サービスBの担い手を養成し、家事支援、話し相手、安否確認のサービスを提供した。 |
| ふれあいランチサービス事業 (ふれあいランチサービス事業) | 75,555 | 地域包括支援センターやケアマネジャーが実施するアセスメントに基づき、バランスのとれた食事を提供し、あわせて安否確認を行うことで、ひとり暮らし高齢者等の見守り支援につなげた。 |
| 認知症総合支援事業 (認知症総合支援事業) | 3,034 | 認知症初期集中支援チームや認知症地域支援推進員が相談に対応し、適切な医療や介護保険サービスに繋げることにより、認知症の人やその家族への支援を行った。 |
| 日常生活用具助成事業 (緊急通報装置貸与) | 35,426 | 健康面に不安がある等のひとり暮らし高齢者等の事故防止等を図るため、地域包括支援センター等と連携し、緊急通報装置を貸与することにより、高齢者の不安の解消と緊急時における適切な対応につなげた。 |
| 老人クラブ助成事業 (老人クラブ助成事業) | 26,214 | 高齢者の生きがいと健康づくり活動及び活躍の場の充実を図るため、老人クラブ連合会に加入している単位老人クラブへの補助額を増額するとともに、老人クラブ連合会に加入していない団体へも新たに補助金を交付した。 |
| 老人趣味の家等管理運営費 (老人趣味の家趣味講座運営) | 4,391 | 趣味講座の開催や高齢者が集える場の提供により、高齢者同士の交流を促し、生きがいづくりや健康づくりを促進した。 |
| シルバー人材センター費 (シルバー人材センター補助金等交付事業) | 17,971 | シルバー人材センターへの補助を通じて、高齢者への就業機会を提供することにより、活力ある地域づくりの推進役を担う高齢者の活動と活躍の場づくりを支援した。 |

4 中山間地域のすこやかな暮らしを支える“つながり”の強化

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|--------------------------------------|-------------|---|
| 中山間地域等活性化対策事業 (中山間地域元気な農業づくり推進事業) | 9,851 | 中山間地域における農業・農村の維持・活性化を図るため、「中山間地域元気な農業づくり推進員」を配置し、地域の現状と課題を把握するとともに、集落間で連携して地域の課題に取り組む地域マネジメント組織に対し、農産物等の庭先集荷サービスや多様な主体との連携活動を支援した。 また、平成29年度から中山間地域農地活用促進モデル事業補助金を創設し、これまで作物を栽培していない農地に山菜等の栽培を始める農業者等の団体を支援し、農地の保全と農業・農村の活性化を図った。 |
| 中山間地域等活性化対策事業 (中山間地域等直接支払交付金) | 549,924 | 農業生産条件の不利な中山間地域等において、農業生産活動の継続と耕作放棄地の発生防止のため、集落等が行う農業生産活動の取組を支援することにより、中山間地域農業の持つ多面的機能の発揮、耕作放棄地の拡大防止、持続的な農業生産活動を実現し、農業の振興及び農地の保全を図った。 |
| 中山間地域振興事業 (中山間地域支え隊事業) | 81 | 集落行事や集落の課題に対応する労力が不足している中山間地域を市全体で支えるため、企業や団体からボランティア協力していただく中山間地域支え隊を組織し、集落からの協力要請に応じて、延べ22団体が地域貢献活動を実施した。 |
| 中山間地域振興事業 (地域支え合い体制づくり事業補助金) | 50 | 中山間地域の高齢化率が50%以上の集落における除雪等に必要な労力不足を補完するため、地域の住民組織やNPO等が行う除雪要支援者を対象とした除雪等ボランティアの派遣事業を支援した。 |

【戦略2】産業 ～地域の元気と働きがいを生む産業の創出～

1 選ばれる“上越の産品”づくりと市民ぐるみでの魅力発信

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|---------------------------------|-------------|--|
| 新産業振興事業 (メイド・イン上越推進事業) | 6,960 | 中小企業者等の販売促進を図るため、優れた商品をメイド・イン上越に認証するとともに、市内複数施設に設置した常設販売コーナーや専用ホームページ、各種イベント等でPRを行うなど、商品の魅力を市内外へ積極的に発信した。 また、農商工の事業者間の連携による当市の多様な地域資源を生かした「選ばれる産品」づくりの取組を支援し、試作品を完成させた。 |
| 農産物販売促進事業 (積極的な地場農産物の販売促進事業) | 5,370 | 上越産品が継続的に首都圏等の消費者の目に触れるような機会を創出し、継続的な販売促進につなげるため、上越産農産物販売促進助成金を交付し、交通会館マルシェへの出店や販促資材作成及び全国規模の商談会への補助、市内の農業者と飲食店等とのマッチングフェア（商談会）の開催など、販促事業を実施した。 |
| 園芸振興事業 (学校給食用野菜生産体制強化支援事業) | 924 | 学校給食における地場産農作物の利用を促進するため、地場産野菜の利用率が低い吉川区、中郷区、板倉区及び清里区を対象に、野菜の栽培に必要な種苗や資材等の購入経費を支援したほか、関係機関と連携し供給体制の強化を図った。 |

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|------------------------|-------------|---|
| 園芸振興事業 (園芸振興事業費補助金) | 1,596 | 稲作と園芸との複合経営による経営体の体質強化を図るため、えだまめやキャベツ等の重点品目について、生産拡大に必要な種苗や資材等の購入経費を支援した。 |

2 まちの未来を切り開く新産業の創出

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|-----------------------------------|-------------|---|
| 新幹線整備促進費 (新幹線新駅周辺地区まちなみ形成推進事業) | 73,783 | <p>平成 22 年度に策定した「新幹線駅周辺地区まちなみ形成構想」を具現化するため、各種の支援策を実施した。</p> <p>【上越市新幹線駅周辺地区まちづくり補助金 (3,147)】 上越妙高駅周辺地区商業地域の土地の地権者で組織する上越市新幹線駅周辺地区商業地域土地利用促進協議会へ補助金を交付するとともに、協議会との定期的な情報交換を実施し、活動を支援した。</p> <p>【企業設置等奨励金 (124)】 上越妙高駅周辺地区商業地域に進出した企業が取得した固定資産（土地除く）の固定資産税相当額を支援する補助制度を運用し、上越妙高駅前の立地特性を生かした民間資本による事業展開を促した。</p> <p>【優良建築物等整備事業補助金 (58,523)】 上越妙高駅周辺地区商業地域に進出する企業に対し、一定の要件を満たす建築物の建築費の一部（廊下、昇降施設など施設の共有部分に係る建築費）を支援する補助制度を創設し、当地において検討が進む民間プロジェクトを実行へと導いた。</p> <p>【レンタルオフィス・サポート事業補助金 (853)】 上越妙高駅周辺地区商業地域に進出した企業の家賃に対して支援する補助制度を運用し、上越妙高駅前の立地特性を生かした民間資本による事業展開を促した。</p> <p>【建築資金借入利子前払事業補助金 (10,867)】 上越妙高駅周辺地区に進出した企業の建築に係る借入利子に対して支援する補助制度を運用し、上越妙高駅前の立地特性を活かした民間資本による事業展開を促した。</p> |
| 商業振興支援事業 (e コマース推進事業) | 3,481 | インターネットを利用して商品、サービス等の販路開拓又は市場拡大に取り組む市内中小企業者を支援するため、基礎的な知識や先進的な取組事例を学ぶ「e コマースセミナー」や「えちご上越ネットショップ道場」を開催するとともに、インターネットショップの開設等に要する経費の一部を補助した。 |
| 企業振興事業 (人材育成事業) | 403 | 小規模企業者の体質強化を図るため、自社の個別課題に応じて行う、人材育成機関等への派遣研修 2 件と、外部からの講師招聘研修 1 件に係る経費の一部を新たに補助したほか、製造業管理者向けのセミナー等を開催した。 |

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|-------------------------------|-------------|--|
| 新産業振興事業 (中小企業研究開発支援 事業) | 4,874 | 中小企業者等の経営基盤の強化につなげるため、新技術や新製品の開発に要する経費の一部を3社に補助した。 |
| 設備投資促進事業 (設備投資促進事業) | 226,269 | 地域経済の活性化・雇用確保に寄与するため、企業の設備投資に対する財政支援を実施した。 |

3 生きがいを持って働けるまちづくり

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|--|-------------|--|
| 雇用対策事業 (ワーク・ライフ・バラン ス推進事業) | 9 | ワーク・ライフ・バランスの推進に資する取組を促進するため、市ホームページを活用し情報提供を行うとともに、啓発チラシの作成により事業者への意識啓発を行ったほか、関係機関と連携して「マザーズ再就職支援セミナー」を開催した。 |
| 農福連携障害者就労支援 コーディネート事業 (農福連携障害者就労支 援コーディネート事業) | 698 | 障害のある人の就労機会の拡大と農業分野における労働力の確保のため、受入農家・団体等を開拓するとともに、福祉事業所とのマッチング等のコーディネートを行ったほか、福祉事業所における受託作業の拡大と農福連携についての理解促進に向け、農業者を対象としたセミナーを実施した。 |
| 相談支援事業 (就労支援事業) | 5,800 | 障害のある人への就労支援を強化するため、新たにジョブサポーターを配置し、福祉事業所やハローワーク、企業と連携しながら、在宅の障害のある人との面談や、企業への訪問活動を通じた職場開拓、職場定着に向けた支援を実施し、企業での実習の受入や就労先の確保などに取り組んだ。 |
| 雇用対策事業 (若手社員定着支援事業) | 1,050 | 若手社員の早期離職を防止するため、新入社員と指導者の双方を対象としたセミナーを開催した。 セミナー参加者アンケート等を通じて把握した課題等を整理し、コミュニケーションやメンタルヘルスに関するセミナーを企画した。 |

【戦略3】 交流 ～交流圏の拡大をいかした豊かさの向上～

1 ひと・もの・情報が行き交う仕組みや体制の整備

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|--|-------------|--|
| 新幹線整備促進費 (新幹線まちづくり推進事業) | 7,393 | 【北陸新幹線上越市民号運行事業 (2,065)】 北陸新幹線に対する関心を高めて、利用促進につなげるため、新幹線が持つ高い利便性や快適性を実際に体感してもらう上越妙高駅発着の募集型ツアーの「上越市民号」を催行した。 |
| 観光振興対策事業 (地区別各種団体等への補助金、負担金) | 50,992 | 【旅行商品造成促進事業 (1,320)】 上越妙高駅の利用促進と交流人口の拡大を図るため、県外の旅行会社による市内に立ち寄る旅行ツアーの造成の取組を支援した。 |
| 観光企画費 (インバウンド推進事業) | 3,110 | インバウンドの推進に向けて、市内の観光事業者が誘客のために取り組む活動に要する経費の一部を補助したほか、外国人目線による地域観光素材の生かし方などを学ぶための研修会を開催した。 |
| 国際化推進費 (友好交流促進事業) | 4,066 | 友好都市である中国・琿春市、韓国・浦項市を平成 29 年 7 月にそれぞれ市民代表と訪問し、今後の交流についての意見交換を行うとともに、公式イベントにおいて、上越市の PR 活動を行った。 また、9 月には平成 28 年度に職員交流を再開したオーストラリア・カウラ市から職員を受入れ、13 日間の研修を行った。 |
| 観光企画費 (観光インフォメーション利用環境整備事業) | 1,346 | 観光情報サイト「上越観光 Navi」内に新たな観光イメージポスターと連動した特設ページを開設し、ポスターで取り上げた観光素材に関する情報を発信するとともに、市内の民間施設等の体験プログラム提供に関する情報を掲載し、当サイトの有用性を高めた。 |
| 市民交流施設高田公園オーレンプラザ建設事業 (オーレンプラザ建設事業) | 1,443,394 | 市民が集い、語らう施設を整備するため、市民交流施設オーレンプラザの建設工事を完了させた。 |
| 博物館改修事業 (博物館改修事業) | 409,629 | 恒常的に地域の歴史を学べる施設とするため、常設展示室を整備するとともに、施設の長寿命化及びバリアフリー化を実施した。 |
| 小林古径記念美術館増改築事業 (小林古径記念美術館増改築事業) | 21,327 | 平成 32 年度のリニューアルオープンを目指して小林古径邸敷地内に新たな美術館を整備するため、小林古径記念美術館増改築事業の実施設計を完了させた。 |

2 新水族博物館を核とした地域活性化

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|--------------------------------|-------------|--|
| 新水族博物館整備事業 | 7,628,559 | 建設関連工事を進める一方で、愛称の公募や公式キャラクターの制作、主要都市説明会など、各種プロモーション活動を実施した。 |
| 水族博物館管理運営費 (管理・運営) | 191,420 | 【生物保全連携事業 (7,070)】 飼育数世界一を誇るマゼランペンギンの保全に向けて、野生種の世界最大の繁殖地を有するアルゼンチン・チュブ州との間で協力協定を締結した。 |
| 中心市街地活性化対策事業 (まちづくり会社交付金事業) | 14,850 | 【新水族博物館を核とした地域活性化事業 (2,482)】 直江津地区の魅力の向上と賑わいの創出を図るため、地元小学生がデザインした休憩用ベンチを街なかに設置する「おもてなしプロジェクト」や、熱帯魚が泳ぐ水槽を地元商店等に設置する街なか水族館事業など、街なかへの回遊を促進する取組を支援した。 |
| 歴史資源活用推進事業 (旧直江津銀行活用事業) | 17,379 | 歴史的建造物である旧直江津銀行の保存と活用を図るため、建物公開を行うとともに、直江津歴史講座や各種演奏会などを開催したほか、建物の耐震改修に向け、実施設計を行い、改修工事に着手した。 |
| 都市公園整備事業 (五智公園整備事業) | 24,188 | 「うみがたり」周辺の回遊地となる五智公園の魅力向上を図るため、展望台の改築工事を実施した。 |

3 強みを生かした多様なコンベンションの展開

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|--|-------------|---|
| 観光振興対策事業 (地区別各種団体等への補助金、負担金) | 50,992 | 【コンベンション誘致促進 (3,999)】 交流人口の拡大に向けて、上越観光コンベンション協会と連携し各種研究大会やスポーツ大会などのコンベンション誘致の取組を進め、全日本卓球選手権大会マスターズの部など 11 件で延べ 5,925 人の方の当市来訪につながった。 |
| 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業 (東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業) | 5,039 | 2012 年ロンドンオリンピック日本代表オリンピックアンを招いて、講演会及び体操教室を開催したほか、市民のドイツ文化への理解や親近感を高めるため、料理教室や文化講演会、ドイツ料理をテーマにした学校給食の提供などに取り組んだ。 また、ドイツのホストタウンとして、体操以外にも、武道競技の合宿招致に向け、競技団体と協議を進めた。 |
| 体育施設整備事業 (（仮称）上越体操アリーナ改修事業) | 236,768 | 「体操のまち上越」を全国に発信し、競技人口の増加や競技力の向上はもとより、市民の健康増進や生涯スポーツの充実、大会や合宿等の誘致拡大による県内外との人的交流の促進により、まちの活性化を図るため、平成 31 年度のオープンを見据え、建設用地を取得するとともに、本体工事の実施設計を完了した。 |
| 道路整備事業 (道路整備事業(県立武道館周辺道路)) | 49,025 | 県立武道館周辺道路の円滑な自動車交通と安全な歩行者空間を確保するため、市道四ヶ所大日線の用地取得や物件移転補償及び道路改良工事を実施した。 |

まち・ひと・しごと創生総合戦略の四つの政策分野

【政策分野1】しごとづくり

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|------------------------------|-------------|--|
| アグリビジネス創出支援事業 (6次産業化支援事業) | 2,044 | 農業者等の所得向上や雇用を確保するため、地域資源を活用した特産品開発や農産加工に取り組む農業者に対し、農産加工の拡大に必要な機械の整備や施設改修などのハード事業について、経費の一部支援を実施したほか、国の施策に基づき、6次産業化等の取組方針等を定めた「上越市6次産業化推進戦略」を新たに策定した。 |
| 産業振興総務管理費 (創業の促進) | 311 | 金融機関や商工関係団体と連携し、創業の促進を図るため、新規創業への関心や理解の向上を図る創業セミナーを開催するとともに、創業支援利子補給補助金を交付し、創業者及び第二創業者を支援した。 |

【政策分野2】結婚・出産・子育て

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|---|-------------|---|
| 公立保育所運営費 私立保育所等運営費 (公立保育所運営費・私立認可保育園等の運営) | 4,147,983 | 【保育料の見直し】 子育て世帯の経済的な負担の軽減を図るため、国の多子世帯軽減の基準を超える市独自の対応として、年収約470万円未満相当世帯について、第3子以降の保育料を無料としたほか、市民税所得割課税世帯の保育料を一律5%引き下げた。 |
| 私立幼稚園教育振興事業 (私立幼稚園就園奨励費補助金) | 87,335 | 【保育料の見直し】 子育て世帯の経済的な負担の軽減を図るため、国の多子世帯軽減の基準を超える市独自の対応として、年収約470万円未満相当世帯について、第3子以降の保育料が無料となるよう補助を行った。 |
| 私立幼稚園教育振興事業 (私立幼稚園教育振興事業施設型給付費) | 91,317 | 【保育料の見直し】 子育て世帯の経済的な負担の軽減を図るため、国の多子世帯軽減の基準を超える市独自の対応として、年収約470万円未満相当世帯について、第3子以降の保育料を無料とした。 |
| 小学校就学援助費補助事業 (小学校就学援助費補助事業) | 90,866 | 【新入学児童生徒学用品費(6,469)】 経済的に就学が困難な児童の家庭への支援のため、制服やランドセルなど入学時に必要となる学用品費の支給単価を平成28年度の約2倍に増額した。 |
| 中学校就学援助費補助事業 (中学校就学援助費補助事業) | 96,180 | 【新入学児童生徒学用品費(19,245)】 経済的に就学が困難な生徒の家庭への支援のため、制服や鞆など入学時に必要となる学用品費の支給単価を平成28年度の約2倍に増額した。 また、平成30年度中学校入学予定者の家庭には、学用品費の入学前支給を開始した。 |

【政策分野3】 まちの活性化

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|----------------------------------|-------------|--|
| 中山間地域振興事業 (地域集落支援事業) | 17,301 | 中山間地域における集落の暮らしを守り、さらには集落の活力の維持・向上に向け、集落の実情に応じた支援を行うため、条例で中山間地域集落として定められた対象地域に集落づくり推進員を配置し、日常的な集落巡回により課題把握を行い、解決に向けて行政機関とのパイプ役を果たすとともに、集落アドバイザー事業を活用して住民自らが集落の将来を考える話し合いを促すなど、集落支援活動を展開した。 |
| 中山間地域振興事業 (地域おこし協力隊を活用した集落支援) | 15,530 | 中山間地域集落の活性化を実現するため、総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、市内5地区で首都圏等から中山間地域集落の活性化を志す人材を採用し、集落ビジョンの実現に向け地域住民とともに活動を展開した。 |

【政策分野4】 UIJターンとまちの拠点性

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|---------------------------------|-------------|---|
| 移住定住対策事業 (上越市ふるさと暮らし支援センター) | 2,355 | 当市への移住希望者を積極的に迎え入れるため、移住に関する情報発信、移住関係セミナーの開催や参加及び関係課の移住支援策を活用した相談対応、移住サポート団体への支援等を行った。 |
| 担い手育成確保支援事業 (新規就農者等定住転入促進事業) | 2,614 | 農業従事者の高齢化や後継者不足が深刻化しているため、新規就農者の募集から農業体験、農業法人等での研修、就農までの一貫した支援体制により、首都圏等から当市への移住定住の新しい流れをつくり、次代の農業を支える新規就農者の確保・育成を図った。 |
| 定住促進奨学金貸付事業 (定住促進奨学金貸付事業) | 87 | 若者の当市への定住を促すため、公共交通機関を利用して市外の大学等へ通学する学生21人に対し、奨学金の貸付を行った。また、返還を開始した8人のうち、市内居住等の要件を満たした7人に対し返還免除を適用した。 |
| 雇用対策事業 (インターンシップ促進事業) | 3,964 | インターンシップを実施しやすい環境を整備するため、市内のインターンシップ受入企業を紹介するホームページ及びインターンシップやUIJターンに関する情報等を発信するフェイスブックの運営のほか事業所向けの研修会を開催し、市内での就職希望者や事業者を支援した。 |
| 雇用対策事業 (市内企業雇用促進事業) | 3,500 | UIJターン者を含め若者の市内での就労を促進するため、県外の進学先から就職試験を受ける際の旅費や市内企業へ就職する転入者の家賃の一部を補助したほか、関係団体と連携して大学生や高校生を対象に企業見学ツアー等を開催した。 また、新たに、上越地域からの進学者が多い大学において、市内企業の説明会を実施した。 |

国の地方創生推進交付金を活用した事業

【テーマ1】城下町高田の歴史・文化をいかした「街の再生」

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|---|-------------|---|
| 町家シェアハウス管理運営費 (町家シェアハウス管理運営費) | 4,239 | 街なかに「住み続けたい」、「住んでみたい」と思う人を創出し、街なか居住や町家の活用を促進するため、シェアハウス大町を整備するとともに、その整備過程からワークショップ等を実施し、大学生や地域住民の方々へ施設のPRを行った。 また、定期的に町内会関係者と入居者との交流の場を設けることで、地域に溶け込む橋渡しを行ったほか、施設の安全・安心な維持管理に努めるため、毎月施設点検を行った。 |
| 観光振興対策事業 (地区別各種団体等への補助金、負担金) | 50,992 | 【上越市百年料亭のあるまち誘客・回遊強化事業補助金(2,000)】 百年料亭の魅力を生かした、市内への誘客・回遊に向けた旅行商品の企画・造成の取組のほか、料亭文化及び高田芸妓文化に対する市民の認知度を高めるための取組を支援した。 |
| 歴史資源活用推進事業 (100年映画館のあるまち誘客・回遊強化推進事業) | 3,910 | 「100年映画館のあるまち」としての魅力をいかして市内外からの交流人口を拡大し、高田市街地のにぎわいを創出するため、豪雪の記録映像上映会や映画の楽しみ講座、ベビー同伴上映会など、様々な世代が利用できるイベントを実施したほか、街なかの撮影ロケ地をめぐるツアーや味噌蔵見学会を行い、地域資源の活用やまちなか回遊につながる催しを開催した。 |
| 歴史資源活用推進事業 (歴史文化資産活用推進事業) | 3,485 | 高田市街地における交流人口の拡大等による経済効果の創出に向けて、市民や民間団体等と連携し、町家を公開するとともに、まちなみ散策ミニツアーを行ったほか、町家において、よみかたり講座や美術展を開催するなど、活用促進に向けた取組を実施した。 |
| 景観デザイン事業 (景観づくりの推進) | 8,166 | 【城下町高田景観づくり推進事業(6,283)】 地域の特性を活かした景観づくりを推進するため、南本町三丁目における景観まちづくり活動として、のれんづくりやフリーペーパーの発行、高校生と連携した空き町家活用事業を実施した。 |

【テーマ2】雪室・利雪による地域産業イノベーション

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|---------------------------------------|-------------|---|
| 省エネルギー・新エネルギー普及推進事業 (雪冷熱エネルギー活用事業) | 1,853 | 雪室推進プロジェクトが雪室商品等を生産・増産するために活用する旧安塚ほのぼの荘の雪室の機能強化のほか、雪冷熱エネルギーの理解を深めるため、小中学生を対象に、雪室や雪利用を学ぶ環境講座を新たに実施した。 |
| 農産物販売促進事業 (雪室商品等市場開拓支援事業) | 13,575 | 当市固有の資源である「雪」を活用した地域産品の高付加価値化やブランド化を図るため、雪室推進プロジェクトが主体的に行う商品開発へのコンサルティング、ホームページやSNSを活用した雪室商品や雪室の紹介などの情報発信、雪室における食品貯蔵効果の科学的検証などの取組を支援した。 |

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|--------------------------------|-------------|---|
| 新産業振興事業 (雪室商品開発等支援事業) | 3,399 | 地域特性である雪の冷熱エネルギーを活用して地域産業の振興を図るため、雪室推進プロジェクトに参画する事業者が行う雪室商品の開発経費の一部を7社に補助したほか、旧安塚ほのぼの荘雪室の運営経費などの一部を公益財団法人雪だるま財団に補助した。 |
| 農産物販売促進事業 (雪下・雪室野菜販路拡大支援事業) | 2,787 | 雪下・雪室野菜の一層の普及に向けて、JAえちご上越が行う雪下野菜を使用した新たな加工品の開発や市内イベントでのPR活動、首都圏での市場調査などの取組を支援した。 |

その他

| 予算事業名称 (事業名) | 決算額 (千円) | 取組状況 |
|-----------------------|-------------|---|
| 企画調整費 (重要施策企画調整事業) | 7,356 | <p>【地方創生推進事業補助金 (3,433)】</p> <p>上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略を推進するため、「上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会」に参加する民間団体や企業による意欲的かつ先駆的な事業を支援した。</p> |